

やまがた

元氣

農の風

NO.37

山形県庄内町

株式会社いで葉工望

なりた

ひろき

成田

浩輝さん

すこやかな赤ちゃん葉っぱ「ベビーリーフ」を
庄内の大地からお届けします

庄内町



経営のきっかけ・こだわりをお聞かせください。

地元の産直施設で見かけたベビーリーフに興味を持ち、育苗後のハウスを活用し栽培したのが始まり。2018年に株式会社いで葉工望を立ち上げ、現在、ハウス36棟（離農した農業者等から借用したハウス18棟を含む）で、季節に応じて小松菜、水菜、ルッコラ等8種類のベビーリーフを周年土耕栽培し、主に地元のスーパーや飲食店に販売しています。

播種から収穫までの期間が短い夏季には、空いたハウスでトマトを栽培し、サルサソースやジェラートの製造、販売も行っています。



株式会社いで葉工房

代表取締役 成田 浩輝さん



ベビーリーフの栽培ハウス



ハウス土耕栽培の様子

ベビーリーフとは、発芽して
間もない若葉の総称です。

農業の魅力について
お聞かせください。

食べていただいた方から、直接「美味しかった」と言ってもらえることが励みになっています。また、レストラン等で当社が生産したベビーリーフを使っていただくことに喜びを感じます。

食の都庄内で、誇りをもって地元で愛される良いものを作り続け、従業員はじめ、消費者の皆さん、当社に関わるすべての方が、「食」を通して笑顔と幸せにつながるような仕事を心がけていきます。

収穫間近のベビーリーフ
(小松菜)

選別の様子

今後の経営・目標・将来
展望をお聞かせください。

当社では新たな農業のあり方として、IT企業との連携により半農半ITの勤務体制を取り入れています。今後も柔軟な働き方の導入により、労働力を確保した上で規模拡大を行い、地域の農業振興に貢献していきたいです。

また、土づくりでは、これまでも地元養豚農家の完熟たい肥を使用し無農薬栽培に取り組んでおり、将来はベビーリーフの有機JAS認証の取得を目指しています。持続的な農業として次の世代に継承していきたいと考えています。



商品「ベビーリーフ」